



昭和学院中学校・高等学校

進路希望に合わせたコース制で
生徒の「やってみてみたい」を大切に育てる



全コースが参加する中学3年の修学旅行型「オーストラリア語学研修」



山本 良和
校長

受け身ではなく 自ら決めて進めるように

1940年に創立された本学は、「明敏謙譲」を校訓に掲げ、知・徳・体を基本とした人間教育を実践してきました。高校からの入学も受け入れる併設型中高一貫校ですが、2025年度以降は中学の募集定員を増やし、中高一貫教育をより一層充実させていきます。

本学では創立80周年を迎えた2020年に、進路希望に合わせた4コースからなる「新コース制」を導入しました。「アドバンストアカデミー(AA)」は6年かけて難関大学を目指すコース。「インターナショナルアカデミー(IA)」は英語教

育に重点を置き、グローバルに活躍する人材を育成します。将来、国際系の学部や海外の大学へ進学することも一つの目標です。「サイエンスアカデミー(SA)」は大学レベルの充実した実験設備をフル活用し、高度な科学教育を展開。知的好奇心が旺盛な中学時代から問題を発見する感性を育み、自然科学への探究を通じて論理的思考を養います。そして「ジェネラルアカデミー(GA)」で重視するのは、個性を伸ばしていくこと。勉強、スポーツ、芸術、日々の委員会活動など「夢中になれるなにか」を生徒自身が見つけ、そのチャレンジを柔軟なカリキュラムで応援するのが、GAコースです。

新コース制が始まって4年が経ち、目的意識を持って入学してくる生徒が増えました。中学高校ともに偏差値が上がり、英語やスポーツなど各分野で好成績を残す生徒も少なくありません。

「一方通行ではない 楽しい授業」を実施

コース制を充実させる一方で、2024年度私が校長に就任したのを機に、「もっと授業を楽しくする」という取り組みを始めました。授業の中で生徒が自分の考えを発信する機会を増やすこともその一つ。先生が一方的に知識を与える授業ではなく、先生と生徒、お互いの声がかきあえる授業を通して、相手にわかりやすく伝える力を磨いていきます。そして先生が出した問いの答えを探すのではなく、その問いをきっかけに生徒が次々に新たな問いを導き出し解決していく。そんな授業も展開します。系列校や他校との授業交流なども行いながら、これまでの常識にとらわれない「楽しい授業」を作っていきたいと考えています。

①部活動が盛んで、中でも新体操部は好成績を上げている。2023年度は第76回全日本新体操選手権大会で高校生初の団体総合優勝を果たした②③ネイティブのクリスティーナ・メイ先生による英語の授業。4技能を伸ばすためにさまざまな取り組みをおこなっている



通常よりも多めに英語の授業を行っているのですが、IAコースは他コースよりもさらに1時間多く設定。英語の習得自体が目的ではなく、「自分の意見を英語で主張する」といった主体的なコミュニケーション力を養うために、ディスカッションやプレゼンテーションを数多く盛り込んでいます。夏休みにはコミュニケーション力の強化を図るため、全員参加によるワークショップ型の5日間集中プログラムを実施。中1と中2では、わからない単語は推測しながら読み進めていく「多読」に取り組み

英文にも慣れていきます。国際教育部長の落合太一先生はこう話します。「IAコースはネイティブの教師や帰国生との交流を通して英語を耳にする機会がとて多い。ごく自然に物怖じせず英語を使えるようになります。また英検対策も充実しており、中2の終了時点で大半が準2級以上を取得しています」

英語力を活用し 年内入試で大学に合格

現在、IAコースが設置されてから5年目。高校から入学した2学年分の生徒が卒業し、IAコースならではの大学進学実績が出てきています。24年は海外の大学に4名が合格。英検やIELTS[®]が有利に働く総合型選抜や学校推薦型選抜などの年内入試で、ICUや上智大、千葉大といった難関大学に12名が合格しました。一般入試でも

東京外語大や早稲田大、中央大などに合格しています。「25年は中高一貫生が初めて大学受験を迎えます。IAコースの6年間の学びが大学受験やその先にある夢の実現にどうつながっていくのか、とても楽しみです」(落合先生)

IAコースでは、どのような生徒を求めているのでしょうか。国際教育部副部長の井村海渡先生はこう話します。「自分はこういう人間だ」「自分はこんな意見を持っている」と言える子、教師の言うことをそのまま受け入れるのではなく、「なぜそうなのか」「私はこう思う」と主張できる子に入ってきてほしい。自ら学ぼうとする子は歓迎ですし、そういう子は入学後に大きく伸びます。私たちは生徒の学びたいという意欲を最大限伸ばせる学習環境を用意し、しっかりとサポートしていきます」

日本人と外国人の「ダブル担任制」を導入

2020年から導入された新コース制では、生徒一人ひとりの知的好奇心を刺激し、将来像を思い描けるようなコースが設けられています。中でも注目を集めているのが、「インターナショナルアカデミー(IA)」コースです。日本人の生徒だけでなく、帰国生や留学生も在

籍する多様性に富んだクラス構成で、社会で活きる英語力と世界基準の視野を持ち、グローバルに活躍する人材を育てるためのプログラムを展開しています。IAコースの特徴の一つが、日本人とネイティブの教員による「2人担任制」を導入していること。ホームルームも原則オールイングリッシュで実施します。同校ではすべてのコースで



落合 太一
国際教育部長
IAコース長



井村 海渡
国際教育部副部長

PICK-UP



修学旅行は全コースで オーストラリアへ

中3の修学旅行は全コースで9日間の「オーストラリア語学研修」を実施。2人1組でホームステイを経験しながら現地校の授業にパティと一緒に出席したり、週末はホームステイ先の家族と共に充実した時間を過ごします。その事前学習を兼ねて中1で1泊2日、中2では2泊3日の研修を国内の施設で開催。ネイティブの先生の指導で英語に親しむ一方で、日本人や日本の文化などについて理解を深めます。「まず『自分たちのこと』を認識する機会を設けることで、オーストラリアに行ったときに自分たちとの違いや多様性についてしっかり実感できるようにしました」(落合先生)。なお同校では中2・3を対象に希望制で「カナダ海外研修」も行っています。

